

# 凍り餅作りに挑

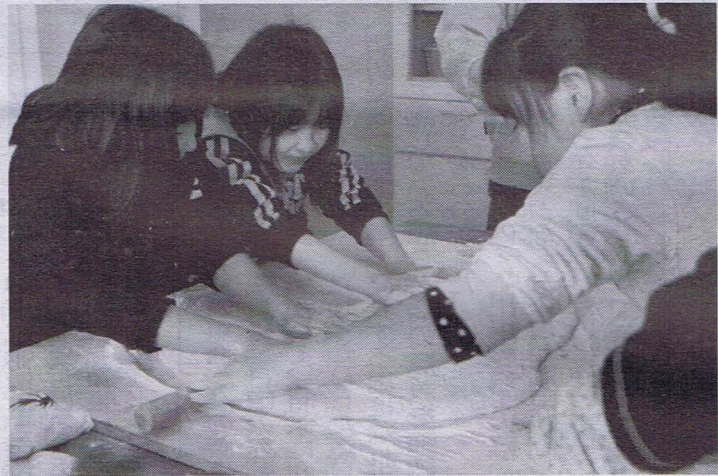
## かま塾で冬の保存食を

神子柴地区のかま塾は18日、「凍り餅作り

わったり、昔から伝わる冬の保存食の作り方を学んだりして楽しんだ。

慣れた手つきできねを振りかぶった児童たちは、「よいしょー」と4日分の餅つきに挑戦。地域のお年寄りから「厚さを均等にしないと駄目だよ」と教わって、出来たてのうちにごろごろと餅をのす作業も体験した。

直径約6センチほどの餅は、切り餅サイズに切り分け、破けないうように優しく和紙に包



均等な厚さにするため餅をのす児童たち



グループワークで同世代の仲間と話し合う参加者たち

### コミュニティセッション力磨いて 若手社員対象に研修会

**伊那勤青福祉推進者連絡協**  
伊那地区勤労青少年福祉推進者連絡協議会は17日、若手社員対象の研修会を大芝高原の大芝荘で開いた。特定社会保険労務士の山本享さんが「職場で活かすコミュニケーション術」についてグループワークを交えて説明した。

研修会には、製造、精密業などの7事業所から20代を中心に17人が参加。言葉だけでなく詳細を伝えたり、話し方や聞き方を観察したりと三つのグループワークに挑戦して、コミュニケーションの重点などを学んだ。

山本さんは、グループワークで出た反省点や感想を取り上げ「互いが情報を分かち合えないとコミュニケーションにならない」と助言。他にも、質問20項目で普段の対話の姿勢を振り返ってもらい、「聴くと話すのうち、片方ができても駄目。

# 新年の腕言

## おもしろ将棋で

南箕輪村内の将棋同好会おもしろ将棋(伊藤藤彰代表)は18日、新春恒例の「将棋指し初め会」を村公民館で開いた。和やかな雰囲気の中で、会員ら10人が集まってこし最初の対局を楽しんだ。

南箕輪村内の将棋同好会おもしろ将棋(伊藤藤彰代表)は18日、新春恒例の「将棋指し初め会」を村公民館で開いた。和やかな雰囲気の中で、会員ら10人が集まってこし最初の対局を楽しんだ。



指し初めを楽しむ会

童話のおはなし会は、22日(水)午前10時半から図書館世代間交流室で開く。

読み聞かせは、おはなしグループ・伊那市図書館大好き会の養田明美さんと橋本洋子さん。村にちなむ民話、童話や季節に合わせたお話を発表する。申し込み不要、入場無料。



バランスが大切」と呼びかけた。

参加した社会人2年

目の男性は「改めてコミュニティセッションについて考えると難しいなと思う。伝えたつもりでも相手に伝わってないこともあると感じた」と話した。

続く交流会では、異業種で働く同世代の仲間たちと親睦を深めた。

研修会は、同協議会が若手社員のスキルアップなどを目的に毎年テーマを変えて開いている。

# アルバイト急募

## ◆時給……応談